



少しずつ木々が色づきはじめ、冬の気配を感じるようになりました。2年生は明後日から修学旅行ですが、錦に染まる秋の関西で、文化や伝統、おいしい料理を堪能し、また学友との親睦を深めてください。1年生6名は20、21日の二日間、幼稚園でのインターンシップを体験してきます。3年生のセンター試験出願者(325名)には、『確認はがき』が配布され、6名の訂正届を大学入試センターに送りました。センター試験まであと64日となりましたが、焦らず一歩ずつ準備を進めてください。

3年生は受験校を決定し「受験スケジュール」を組み立てていく時期となりました。来週中には受験スケジュール表が配布され、月末には調査書交付願の記入について説明があります。

一方、クラスには推薦やAOで合格を手にした仲間が次々と現れるでしょう。受験生全体には安全志向が広がり、先の見えない不安や焦りのなかで、出願校を決めなければなりません。しかし、ぜひ、これまで抱いてきた『第1志望を貫く決意』をここでもう一度固めてもらいたいと思います。

## ①. 【 3年生の推薦・AO出願状況 … 大学のAO出願が増加 】

3年生の推薦・AO入試の出願もほぼ一段落し、すでに結果が出た人も少なくありません。ここでは出願数のみお伝えしますが、本校では推薦入試の出願数はほぼ前年並み、AO入試の出願数は大学で約2割増加しました。現3年生は全国的に超現役・安全志向が強く、推薦・AO入試の出願が大幅な増加傾向にあります。千葉西高校の3年生はそのような傾向にあまり流されることなく、自分の進路をしっかりと考えている様子が覗えます。

昨年は定員厳格化の影響で、中堅から押さえの大学で推薦の出願が増加したため、今年は推薦の募集定員を減らした大学が少なくありません。特に公募制推薦やAO入試では志願者増加により倍率が上がり、合格が難しくなることが予想されます。また指定校推薦でも合格が100%保証されたわけではなく、不合格となる場合もあります。推薦・AO入試に出願した人は、十分な準備をして面接や小論文試験などに臨んでもらいたいと思います。同時に、一般入試に向けた準備も怠らないようにしてください。

### ● 推薦入試 出願数

	指定校推薦	公募推薦	推薦合計
大 学	<b>現3年 40</b>	<b>現3年 21</b>	<b>現3年 61</b>
	33期生 36	33期生 26	33期生 62
	32期生 39	32期生 15	32期生 54
短 大	<b>現3年 1</b>	<b>現3年 0</b>	<b>現3年 1</b>
	33期生 1	33期生 1	33期生 2
	32期生 0	32期生 0	32期生 0
専門学校	<b>現3年 3</b>	<b>現3年 0</b>	<b>現3年 3</b>
	33期生 3	33期生 3	33期生 6
	32期生 1	32期生 3	32期生 4

### ● AO入試 出願数 (自己推薦を含む)

	AO入試 出願数の推移		
大 学	<b>現3年 40</b>	33期生 34	32期生 23
短 大	<b>現3年 5</b>	33期生 5	32期生 3
専門学校	<b>現3年 9</b>	33期生 13	32期生 13
AO出願合計	<b>現3年 54</b>	33期生 52	32期生 39

## ②【1・2年 推薦・AOはどう変わるか・・・進路希望調査結果から】

10/16に実施された1・2年生の第2回進路希望調査結果の一部を示します。

	大学進学希望	共通テスト受験	学校推薦型選抜	総合型選抜
1年	309名/320名	194名/320名	33名/320名	2名/320名
2年	340名/357名	292名/357名	54名/357名	20名/357名

どちらの学年も95%以上の生徒が大学進学を希望しています。

「共通テスト受験」・「学校推薦型選抜」・「総合型選抜」の3項目は「大学入試改革」最初の受験生である現2年生から新たに加わった調査項目ですが、10/16の調査結果から、大学入試改革で何がどう変わるのか、特に1年生はまだ十分に理解できていない様子が視えます。

- (1) 「共通テスト」は現行のセンター試験に該当するテストで、国語と数学で記述式問題が加わります。大学進学希望者にとってはほぼ必須のテストですから、2年生で約50名、1年生で100名以上の大学進学希望の生徒が「共通テスト」について正しい理解を持っていないのではないかと思います。推薦で大学進学するつもりの方でも「共通テスト受験」は必須です。
- (2) 「推薦入試」は「学校推薦型選抜」に名称が変わります。さらに、
  - ①. 出願開始が現行より約1ヶ月遅くなり、11/1以降となります。
  - ②. 現行の「原則として学力検査を免除し」との記載が削除され「各大学が実施する評価方法（各教科・科目に係るテスト、小論文、プレゼンテーション、口頭試問、資格・検定試験）」又は「共通テスト」の活用が必須化されます。
  - ③. 推薦書の中で「学習歴や活動歴」を踏まえた記載とその活用が必須化されます。
- (3) 「AO入試」は「総合型選抜」に名称が変わります。さらに、
  - ①. 出願開始が現行より約1ヶ月遅くなり、9/1以降となります。
  - ②. 現行の「知識・技能の修得状況に過度に重点を置いた選抜とせず」との記載が削除され、「各大学が実施する評価方法（各教科・科目に係るテスト、小論文、プレゼンテーション、口頭試問、資格・検定試験）」又は「共通テスト」の活用が必須化されます。
  - ③. 本人が記載する活動報告書、入学希望理由書、学修計画書などが積極的に活用されます。

### ● 推薦「⇔学校推薦型選抜」やAO「⇔総合型選抜」を考えている1・2年生へ

推薦やAO入試が変わるのは、それらの入試で入学してくる大学生の「学力不足」や「退学率の高さ」、また「合格が決まって以降の高校生活の過ごし方」などが問題になっているからです。上述の変更点は「高校生活の最後まで、しっかりと学力を身に付け、様々な活動に主体的に取り組む」ことを求めています。進路室に「現3年生の指定校推薦のリスト」を見に来る2年生が増えてきましたが、推薦を考えている1・2年生は次の点を知っておいてください。

- (1) 指定校推薦のリストから希望校を選ばないでください。自分の第一志望校を決めていない人にはリストを見せないようにしています。
- (2) 大学は毎年、指定校を見直しています。今年と同じ大学・学部の募集が来年もあるとは限りませんが、特に大学入試改革とともに、大きな見直しがあるかもしれません。
- (3) 推薦入試の志願者増にとともに、推薦基準も高くなっています。現3年生の指定校推薦においては約3割の大学で推薦基準の評定平均値が0.1～0.5高くなりました。
- (4) 共通テストへの「英語民間試験」の導入は見送りとなりましたが、英語民間試験の成績を出願の条件とする大学は着実に増えています。その基準や活用方法については大学ごとに異なり、今年の基準が来年も適用されるとは限りませんが、英語の民間試験は積極的に受験しておく必要があるでしょう。